

小学校国語

A問題 平均正答率：69.7%（全国：72.9%） 平均無解答率：2.8%（全国：2.3%）

B問題 平均正答率：52.7%（全国：55.5%） 平均無解答率：9.7%（全国：9.2%）

児 児童質問紙 学 学校質問紙

結果チャート

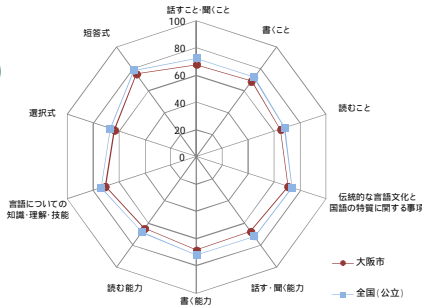
領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

平均正答率及び平均無解答率については、P.2の表を参照のこと。

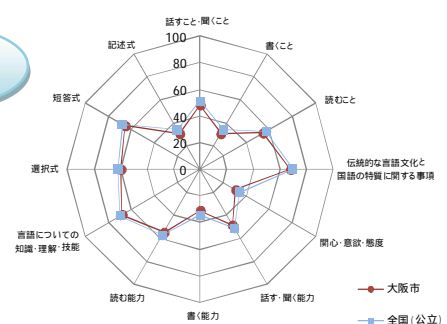
A問題では、「読むこと」「読む能力」「選択式」の項目で低い値を示しています。

B問題では、「書くこと」「関心・意欲・態度」「書く能力」「記述式」の項目で低い値を示しています。

国語 A



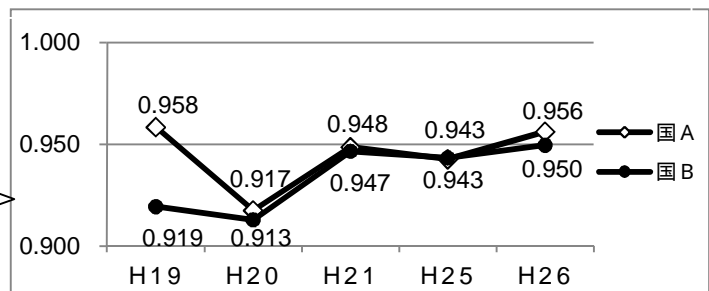
国語 B



対全国比経年比較

対全国比については、悉皆調査の平成19,20,21,25,26年度を取り上げています。

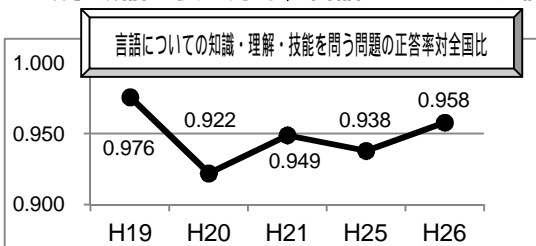
グラフは、全国の平均正答率を1としたときの国語A・国語Bの大阪市の割合を表したものです。



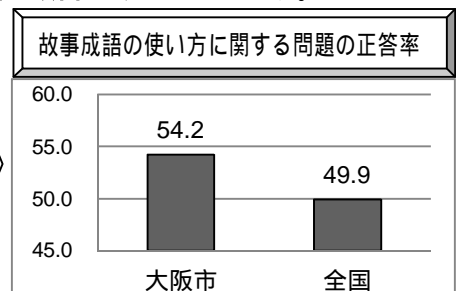
平成25年度と比べ、国語A・国語Bともにゆるやかな改善傾向にあります。

基礎的・基本的な知識の定着にがんばりがみえています

故事成語の使い方等、言語についての知識・理解・技能を問う問題に改善がみられています。



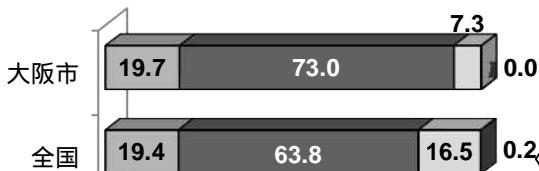
故事成語「百聞は一見にしかず」の使い方として適切なものを選ぶ問題(A2二)



授業では「書く」「読む」習慣をつける指導が行われています。

学

様々な文章を読む授業を行った
(肯定的回答:大阪市:92.7% 全国:83.2%)

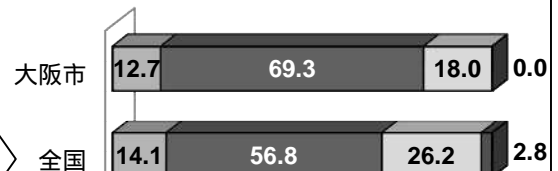


- よく行った
- どちらかといえば行った
- あまり行っていない
- 全く行っていない

肯定的な回答が全国を上回っています

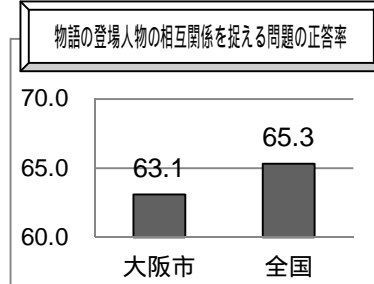
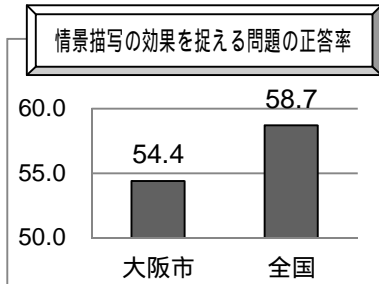
学

補充的な学習の指導を行った
(肯定的回答:大阪市:82.0% 全国:70.9%)



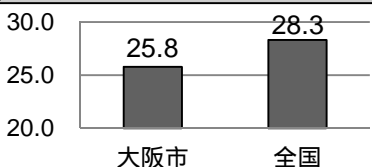
内容を捉えて文章を読むことに努力が必要です

2人の会話の様子から、「さびしい」気持ちを表す描写について、その効果を考える問題（A[3]）
物語「かくれんぼう」に登場する3人について、それぞれの人物像や相互関係を捉える問題（A[5]）



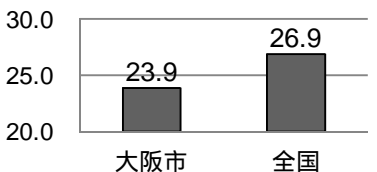
理由を明らかにして自分の考えを書くことや話すことに努力が必要です

立場や根拠を明確にして質問や意見を述べる問題の正答率



卒業文集に関する話し合いで、相手の発言を引用し、立場や根拠を明確にして質問や意見を述べる問題（B[1]三）

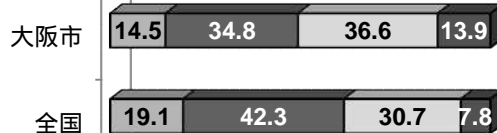
内容を関連づけてまとめて書く問題の正答率



付箋に書かれた2つの文章を読み、分かったことや疑問に思ったことを整理し、まとめて書く問題（B[2]二）

児

目的に応じて資料を読み、自分の考えを書いたり話したりしている
(肯定的回答：大阪市 49.3% 全国 61.4%)



当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 全く当てはまらない

肯定的な回答が全国を下回っています

学校で

「学習教材データ配信」等を活用し、漢字や語句の意味等、基礎的・基本的な事項の指導を継続して行います。

言語活動の充実を図り、考えたことについて、根拠を明確にして書く力や話す力を育みます。

習熟度別少人数授業を通して、一人一人の習熟の程度に合った指導を進めます。

読書タイムや朝の斉読書の時間を設ける等、読書習慣の形成を図ります。

共通点や相違点に着目して複数の資料を読み、自分の考えを書く力を育みます。

家庭で

読書は、言語力の育成のみならず、豊かな感性を育みます。読み聞かせや親子読書を楽しみましょう。日々の発見や感動した出来事をノートに書いてみましょう。字数を決めることで（ノート1ページ・100字程度等）自分の考えや意見をまとめる練習になります。

子どもたちにとって、日常生活で話したり聞いたりすることは大切です。家族で会話をする時間をとりましょう。

効果があった取組例

45分の授業の中で、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」について、工夫した活動を取り入れています。（例）付箋（ふせん）を使って自分の考えをメモとして書く、司会を決めて話し合う、音読の形態を工夫する、等

全校朝会での校長先生のお話について、児童の実態に合わせたテーマ（どんな内容だったか、どんなことを感じたか、自分ならどうするか、等）を決め、100字でまとめて書く活動を取り入れています。

書架を校内の共有スペースに設置することや、教科書の教材文に関わる造形物を掲示することで、児童の読書への関心が高まるような環境をつくっています。

大阪市の取組

「言語活動の充実」(P.35)「習熟度別少人数授業」(P.35)
「学習教材データ配信」(P.37)「学校図書館活性化事業」(P.40)

課題と指導のポイント

調査問題の中で大阪市の子どもたちの平均正答率が特に低い問題
 全国と比べて平均正答率の差が大きい問題
 大阪市として継続して課題がみられる問題

【国語 A】(主として「知識」に関する問題)

課題 情景描写の効果を抑えること

3 設問の概要 情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する。〔正答率 大阪市 54.4% 全国 58.7%〕

学習指導要領における領域 [第3学年及び第4学年] B 書くこと [第5学年及び第6学年] 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

指導のポイント 各学年で読むことと関連を図り、物語を創作する

物語を創作する上で、物語の表現の特徴とその効果について抑えることは重要である。そのためには、物語などの文学的な文章を読むことの授業において、描写の工夫(行動や表情、会話(内言)、風景等)の効果を理解することができるように指導することが大切である。その際、登場人物の心情等について、直接的に描写されているものだけでなく、暗示的に表現されているものも抑えることができるように指導することが重要である。

3 次は、南田さんが想像したことをもとにして書いている「物語の一部」です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの「二人の会話の様子」の□の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【物語の一部】

良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。
 ～中略～
 ～中略～
 【二人の会話の様子】
 橋本 それならば、その気持ちを□で表したらどうだろう。
 南田 それはいいね(しばらく考える。)
 では、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」としたらどうか。

4 良太の行動
 3 良太の周りの風景
 2 良太の心の声
 1 良太の顔の表情

課題 物語の登場人物の相互関係を抑えること

5 設問の概要 物語の一部に入る適切な人物の名前を書く。〔正答率 大阪市 63.1% 全国 65.3%〕

学習指導要領における領域 [第5学年及び第6学年] C 読むこと

指導のポイント 関係図を活用して、登場人物の人物像や相互関係を抑える

【人物像を抑える】

- 登場人物を順番に書き出す。
中心となる登場人物(主人公)を確かめる。
- 叙述の中から、どのような人物かが分かる言葉を書き出し、観点ごとに整理する。
- 登場人物の行動や会話が書かれている叙述を基に、人物の性格を話し合う。

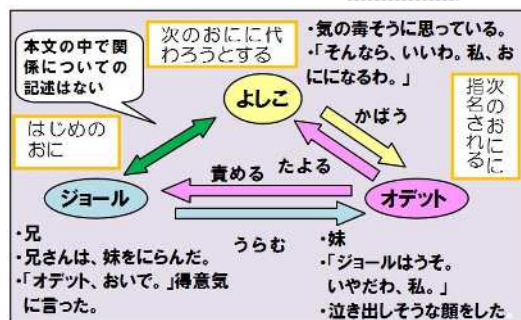
【相互関係を説明する】

- 物語を読み、登場する人物像を抑える。
- 登場人物同士の関わり合いを叙述を基に抑え、関係図に表す。
- 登場人物の相互関係を人物名のカードや矢印などを操作して関係図を基に説明し合う。

5 次は、「かくれんぼ」という題名の物語の一部です。ア・イ・ウの中からは、「よしこ」「ジョール」「オデット」という人物の名前が入りませんが、それぞれに当てはまる名前を書きましよう。ただし、同じ名前は一回しか入りません。

【物語のこの部分のあらすじ】
 登場人物は、よしこ、フランス人のジョールとその妹のオデットです。三人はかくれんぼをして遊んでいます。おにのジョールは、よしこをオデットを同時に見つけました。そこで、二人はジョールに先に見つけたか争っています。

よしこ 「そんなら、いいわ。私、おにになるわ。」
 ア 「ア、ずるい。」
 イ 「兄さんは妹をにらんだ。」
 ウ 「いいことよ、私がおにになるから、早くおににならないね、早くおにきなさい。私、[REDACTED]しているから。」
 (志賀重蔵「かくれんぼ」による)



授業の改善・充実を図る際の参考事例

「平成26年度全国学力・学習状況調査を踏まえた授業アイデア例」P.7～14
 国立教育政策研究所ウェブサイト https://www.nier.go.jp/jugyourei/h26/idea_01.html

【国語 B】(主として「活用」に関する問題)

課題

立場を明確にして、質問や意見を述べること

- 1三 設問の概要 大野さんの発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く。 [正答率 大阪市 25.8% 全国 28.3%]

学習指導要領における領域 [第5学年及び第6学年] A 話すこと・聞くこと B 書くこと

指導のポイント

相手の意見を引用するなどして、質問や意見を述べるようにする

討論においては、課題解決のために互いの立場や意見を踏まえた上で、質問や意見を述べるのが重要である。そのためには、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えとの共通点や相違点を明確にして聞くことが大切である。

具体的な指導としては、話し手の発言内容の中から、中心となる考え、理由や根拠などを、短い言葉で要約してメモなどに書き留めるような指導が有効である。

<討論会メモ>

相手(パソコン)の立場
「記念に残る卒業文集なので、読みやす(つ)くべきだ。」
私(手書き)の意見
「自分が書いた文字を残した方が、卒業の記念に残ると思う。」

手書きの立場の主張

平川: 私は手書きの方がよいと思います。学校のパソコンで、取り組みやすいと思います。

関口: はい。ぼくは、手書きの方がよいと思います。残した方が、記念に残る卒業文集になると思います。

司会: 次に、手書きの立場からの主張をお願いします。

パソコンを使う立場の主張

大野: 私もパソコンを使う方がよいと思います。記念すべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集、パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、作業に取り組みやすいと思います。

丸山: はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。するのがめんどうだからです。パソコンであれば、作業に取り組みやすいと思います。

司会: 「これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集するか」ということです。ではまず、パソコンを使うか。」

課題

二つの詩を比べて読み、自分の考えを書くこと

- 3三 設問の概要 【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く。 [正答率 大阪市 43.2% 全国 48.1%]

学習指導要領における領域 [第5学年及び第6学年] B 書くこと C 読むこと

指導のポイント

詩を読むときの観点を基にして、複数の詩の共通点や相違点を明らかにする

複数の詩を比べて読み、自分の考えを書くためには、表現の工夫や詩の捉え方を観点にしてそれぞれの詩の特徴を理解し、自分なりに解釈をすることができるように指導することが大切である。

そのためには、複数の詩の共通点や相違点を明らかにし、詩を読むときの観点を基にしながら、自分なりの解釈や考えを明確にして書くことが有効である。

【同じ作者の詩を比べて読み、考えたことを伝え合う学習活動】

【詩1】タンポポ
だれでも、タンポポをすきです。でも、どうぶつたちには、タンポポの、ことを、タンポポとは、いいません。めいめい、こう、よんでいます。

イヌ …… ワンフオフオ
ウシ …… ターモーモ
ハト …… ボッポン

【詩2】たんぽぽさんがよんだ
たんぽぽさんが、よんだ。どんな、こえで？
なんのこえでも、みんな、あーら、ひーら、ぶーら、しよ。では、かけていきましょう。

「まじ、みちお、全詩集」による

中西さん 北川さん
山田さん 竹内さん

ステップ1

詩を読むとき、観点を基に、詩の特徴を捉える

ステップ2

共通点や相違点を整理し、自分で考えたことを書く

ステップ3

自分が気に入った詩を複数取り上げ、作者の考え方について伝え合う

ステップ4

各自が選んだ詩を紹介し合う